

AEON

MaxValu

第13期 報告書  
2014.3.1~2015.2.28



マックスバリュ九州株式会社

証券コード:3171

● 経営理念

# より信頼される企業を目指して



● 株主の皆さまへ



マックスバリュ九州株式会社  
代表取締役社長  
**佐々木 勉**  
Tsutomu Sasaki

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻く経営環境は、緩やかな景気回復が見られるものの、昨年4月の消費税増税による消費の冷え込みや、円安の進行によるコストアップ、人材の確保難、異業態の食品小売進出による競争激化等により、大変厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは「九州のスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーへ」というスローガンのもと、店舗の新規出店及び既存店の活性化、お客さまニーズの変化に対応した商品群の積極導入を図ることにより、持続的な成長と地域社会への貢献を目指し、熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高146,109百万円、営業利益1,316百万円、経常利益1,335百万円、また、減損損失を607百万円計上したことにより、当期純利益は153百万円となりました。

当社グループは今後も引き続き、お客さまに広くご支持いただける企業を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● 業績ハイライト

売上高	146,109百万円
営業利益	1,316百万円
当期純利益	153百万円

2015年5月

## ● 今後の戦略

当社グループは「『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョン実現に向けて2013年からの10年間を「飛躍の10年」とし、次の施策に取り組んでまいります。

### ① ベストローカルへの取り組み

#### ○ 「お客さま第一」の再構築

社会環境や地域環境の変化に伴うお客さまのライフスタイルの変化に対応するため、商品・サービスの最適化を図ってまいります。新規出店店舗はもとより、既存店においても改装や商品入替を通じて、お客さまニーズの変化に応じてまいります。特に、当社独自の取り組みである「おかずバイキング」「マックスバリュビュッフェ」につきましては、メニュー数、提供方法等の内容の見直しを行い、お客さまのご支持を増やしてまいります。



#### ○ 地域に根ざす店舗網の再構築

お客さまの日々の暮らしを支えるスーパーマーケットとして、地域に根ざす店舗網を構築するため、駐車場を完備した郊外型店舗の新規出店に加え、より小商圏に対応した都市型店舗の新規出店を継続してまいります。また、価格競争が厳しい地域におきましては、ディスカウント業態「ザ・ビッグ」の新規出店も進めてまいります。

### ② 商品本位の改革推進

価値を伴う「安さ」を実現するため、品質向上に取り組んでまいります。食品を中心とする品揃えの基本は「おいしさ」とし、できるだけ簡便かつリーズナブルな価格でお客さまにご提供できる体制づくりに取り組んでまいります。さらに、社会

環境の変化に呼応して、オーガニック、ナチュラル、ウェルネス商品の拡充を図ってまいります。これらを確実に実行していくため、週ごとのマネジメント体制を再整備いたします。



### ③ 組織業務遂行能力の向上

「お客さま第一」の再構築を推進するため、組織体制の見直しを実施するとともに、当社の成長を支える人材の育成に取り組んでまいります。新卒者の採用・教育を引き続き継続するとともに、優れた専門的能力を持つ人材の中途採用も行います。地域を知り尽くした従業員を育成して戦力化するため、職務別教育、キャリア開発教育、国内・海外研修を実施してまいります。ダイバーシティの取り組みをより強力で推進するため、担当部署を新たに設置し、当社グループのお客さまである女性の視点を経営に生かしてまいります。



#### [各フォーマットの位置づけ]

中核モデルの「マックスバリュ」については、毎年の出店計画に基づき、継続して出店を行ってまいります。「マックスバリュエクスプレス」は、福岡都市圏を中心に「都市シフト」タイプ、高齢化の進んだ地域に対応する「シニアシフト」タイプで出店を加速します。「ザ・ビッグ」「ザ・ビッグエクスプレス」は価格競争力と収益性を追求し、出店エリアを定め、既存店の業態転換等により店舗数を拡大させます。また、佐賀県では、当社子会社の(株)クリエイトによる生鮮ディスカウント業態を展開しています。

マックスバリュ		ザ・ビッグ	
中核モデル 「マックスバリュ」	小型都心モデル 「マックスバリュエクスプレス」	SM-DS 「ザ・ビッグ」	都市部小型 「ザ・ビッグエクスプレス」
営業時間 24時間営業(一部17時間営業)	24時間営業	7:00-23:00(一部9:00開店) 一部24時間営業	7:00-23:00 9:00-23:00
売場面積 2,000㎡	1,000㎡	2,000㎡	1,000㎡

SM…スーパーマーケットの略、DS…ディスカウントストアの略

## ● 環境保全・社会貢献活動の状況

当社は、環境保全や社会貢献に事業活動の一環として取り組むことが地域に根ざした小売業の使命であると認識しております。  
当事業年度は次の活動を進めてまいりました。

### ① ISO14001の基準に基づく環境保全活動の実施

次の内部監査員を目指し、2014年度は34名がISO14001内部監査員養成セミナーを受講いたしました。



### ② 植樹活動の実施

当事業年度は、新店で2,847本を地域のお客さまとともに植樹し、累計本数は92,475本となりました。



### ③ トレー、牛乳パック及び空き缶のリサイクル運動、買物袋持参運動並びにマイバスケット運動の実施



### ④ レジ袋の有料化(大分県及び熊本県内<熊本市及び合志市並びに菊陽町>の30店舗)

レジ袋の代金としてお客さまからお預かりした745千円(2013年度分)については、大分県に393千円、熊本市及び合志市並びに菊陽町に合わせて352千円寄付いたしました。



### ⑤ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」活動の実施

福祉の増進、環境保全、環境学習、文化・芸術の振興などの分野で活躍する団体への助成を7,203千円実施いたしました。



### ⑥ 「被災地の子どもたちを支援する黄色いレシートキャンペーン」の実施

2014年3月9日から3月11日の期間「被災地の子どもたちを支援する黄色いレシートキャンペーン」を実施し、投函いただいたお買い上げレシート合計額の1%である2,288千円を「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付いたしました。



### ⑦ エコキャップ活動の実施

ペットボトルキャップの回収を45店舗で実施し、その収益金182千円を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付いたしました。

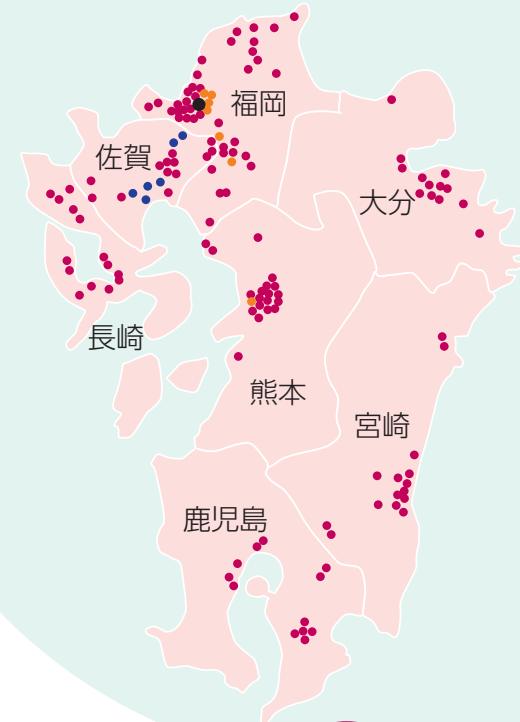


### ⑧ 各種募金活動の実施

当事業年度も募金活動を積極的に実施し、お客さまから総額で19,249千円の募金をいただきました。



## ● 店舗情報



福岡県 44 店舗  
佐賀県 20 店舗  
長崎県 14 店舗  
熊本県 20 店舗  
大分県 13 店舗  
宮崎県 16 店舗  
鹿児島県 12 店舗

全 139 店舗

2015年2月28日現在  
●=本社 ●=店舗  
○=店舗(ザ・ビッグ)  
●=店舗(クリエイト)

2014年度  
新規出店7店舗の  
ご案内

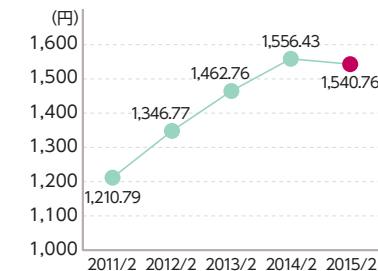
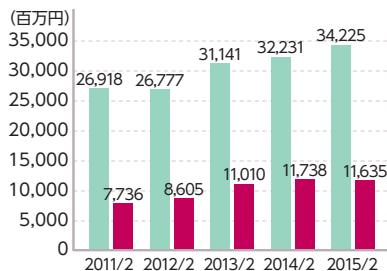
## ● 決算情報

### ○ 営業の概要

営業面の取り組みとしては、改装によるお客さまニーズの変化に対応した商品構成の見直しや、当社の強みである「木よう市」の再強化、WAONボーナスポイント増量セール等による拡販を実施しました。商品面におきましては、イオンのブランド「トップバリュ」の新規商品の積極的展開による拡販や、約100種類のお惣菜を欲しい量だけお買い求

めいただける「おかずバイキング」コーナー及びそのメニューをブラッシュアップした「マックスバリュビュッフェ」を新規にスタートさせ、合計51店舗において展開拡大するとともに、お客さまのライフスタイルの変化に対応した冷凍食品等の簡便商材の展開拡大等の取り組みを実施いたしました。

※2014年2月期より連結決算です。



### ○ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2015年2月28日現在)	前期 (2014年2月28日現在)
<b>■ 資産の部</b>		
流動資産	12,811	10,500
固定資産	21,414	21,730
有形固定資産	14,581	14,804
無形固定資産	446	476
投資その他の資産	6,386	6,449
<b>資産合計</b>	<b>34,225</b>	<b>32,231</b>
<b>■ 負債の部</b>		
流動負債	19,340	17,131
固定負債	3,248	3,361
<b>負債合計</b>	<b>22,589</b>	<b>20,493</b>
<b>■ 純資産の部</b>		
株主資本	11,454	11,583
資本金	1,589	1,587
資本剰余金	1,434	1,432
利益剰余金	8,431	8,563
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	148	132
新株予約権	32	22
<b>純資産合計</b>	<b>11,635</b>	<b>11,738</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,225</b>	<b>32,231</b>

### ○ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2014年3月1日～ 2015年2月28日)	前期 (2013年3月1日～ 2014年2月28日)
<b>売上高</b>		
売上原価	112,133	107,734
売上総利益	33,976	33,099
その他の営業収入	1,693	1,678
営業総利益	35,669	34,777
販売費及び一般管理費	34,353	32,732
<b>営業利益</b>	<b>1,316</b>	<b>2,044</b>
営業外収益	58	73
営業外費用	40	45
<b>経常利益</b>	<b>1,335</b>	<b>2,073</b>
特別利益	8	2
特別損失	661	291
税金等調整前当期純利益	682	1,784
法人税、住民税及び事業税	556	848
法人税等調整額	△27	△18
少数株主損益調整前当期純利益	153	955
<b>当期純利益</b>	<b>153</b>	<b>955</b>

### ○ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2014年3月1日～ 2015年2月28日)	前期 (2013年3月1日～ 2014年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,318	3,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,680	△2,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489	△1,135
現金及び現金同等物の増減額	2,148	212
現金及び現金同等物の期首残高	3,874	3,662
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,022</b>	<b>3,874</b>

## ● 株主還元

当社は、株主に対する利益の還元を経営上の重要な施策と位置づけており、事業規模の拡大と経営の効率化によって企業価値を高めるために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、店舗の新設及び改装、システム投資並びに人材育成のための教育投資等に活用し、事業基盤の強化と更なる業容の拡大につなげてまいります。

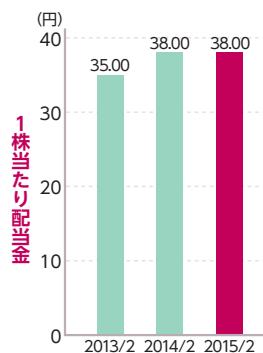
なお、当事業年度の配当金につきましては、1株当たり38円とさせていただきます。

### 2015年2月期

1株当たり  
配当金  
**38円**

配当性向  
**185.8%**

### 配当金の推移



## 株主優待

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主さまに対し、右記のいずれかを贈呈いたします。

区分	①株主さまご優待券	②寒製島原手延べ素麺	③調味料ギフトセット
100株 ～ 1,000株 未満	 ①株主さまご優待券 50枚 (100円券×50枚=5,000円分)	 ②寒製島原手延べ素麺 (桐箱入) 1.2kg	 ③調味料ギフトセット (春夏秋冬の里)
1,000株 ～ 2,000株 未満	 ①株主さまご優待券 100枚 (100円券×100枚=10,000円分)	 ②寒製島原手延べ素麺 (桐箱入) 2.4kg	 ③調味料ギフトセット (Heart Gift)
2,000株 以上	 ①株主さまご優待券 200枚 (100円券×200枚=20,000円分)	 ②寒製島原手延べ素麺 (桐箱入) 2.4kg	 ③調味料ギフトセット (Heart Gift)

## ● 会社概要 / 株式の状況

### ○ 会社概要(2015年2月28日現在)

会社名	マックスバリュ九州株式会社
設立	2002年3月
資本金	1,589百万円
本店所在地	福岡市博多区博多駅東三丁目13番21号
従業員	社員1,189名、フレックス社員他5,441名 (ただし1日8時間換算による)(連結ベース)
店舗数	139店舗(連結ベース)
主要な事業内容	食料品及び日用雑貨品等の小売販売及び テナントに対する不動産賃貸業等

### ○ 役員(2015年5月22日現在)

代表取締役社長	佐々木 勉	取締役	四宮 智明
常務取締役	井上 渡	社外取締役	首藤 哲男
常務取締役	奥野 善徳	常勤監査役	宮崎 雅典
取締役	恒屋 良彦	社外監査役	古賀 和孝
取締役	田中 實	社外監査役	小林 良三
取締役	鈴木 信行	社外監査役	天廣 俊彦
取締役	久保川 順全		

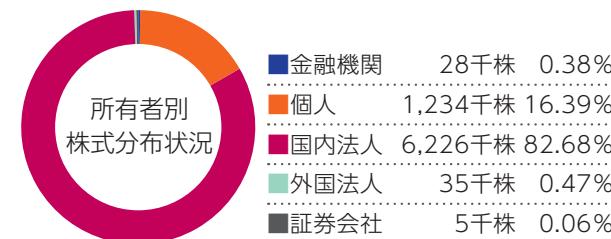
### ○ 株式の状況(2015年2月28日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	7,530,695株(うち、自己株式37株)
株主数	6,101名

### ○ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	5,800	77.02
マックスバリュ九州従業員持株会	97	1.29
マックスバリュ九州共栄会	72	0.96
横尾 廣昭	49	0.65
牛島 真澄	41	0.55
株式会社エーブル	39	0.51
山本 重利	37	0.50
ミニストップ株式会社	37	0.50
マックスバリュ西日本株式会社	30	0.40
三菱食品株式会社	30	0.39
加藤産業株式会社	30	0.39

(注)1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(37株)を控除して算出してあり、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



## 株主メモ

上場市場	東京証券取引所JASDAQ市場
上場日	2012年2月22日
証券コード	3171
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
株主確定基準日	毎年2月末日
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日/毎年8月末日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむをえない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
電子公告掲載URL	<a href="http://www.mv-kyushu.co.jp/">http://www.mv-kyushu.co.jp/</a>
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>

## 少額投資非課税口座(NISA口座)における 配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 上場株式等の配当等に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

- ◆平成26年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20%(所得税15%、住民税5%)の源泉徴収税率が適用されております。
- ◆また、平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されております。

平成26年以降、上場株式等の配当等には、復興特別所得税を含め、**20.315%(※)**の源泉徴収税率が適用されております。  
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

	平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税(含む復興特別所得税)	7.147%	15.315%	15%
住民税	3%	5%	5%
合計	10.147%	20.315%	20%

○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。  
○本ご案内は、上場株式等の配当等に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。本ご案内は平成25年12月時点の情報をもとに作成しております。

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **3171**

いいかぶ

検索

✉ 空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

📱 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com